

日本の大型鯨類調査についての進捗報告 2025年4月から2026年3月 (統計データは2025暦年)

日本政府

要約

本報告は、一般財団法人日本鯨類研究所（ICR）、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所（FRI）および日本の水産庁（FAJ）が2025年4月から2026年3月にかけて収集した、大型鯨類のデータと標本に関する情報、ならびに2025年の捕獲・混獲・座礁統計を取りまとめている。大型鯨類の資源量推定に用いる目視データは、体系的な目視調査により北西太平洋、オホーツク海、日本海、ベーリング海、チュクチ海および南極海で収集された。目視調査では大型鯨類の自然標識、バイオプシーおよび衛星標識実験が行われた。また、北西太平洋の排他的経済水域（EEZ）で行われた商業捕鯨での捕獲個体から、多数の生物標本も収集された。大型鯨類の混獲と座礁に関する種名と数は漁業者、漁業協同組合および一般市民からの報告をまとめた都道府県から水産庁への報告に基づく。収集されたデータと標本は分析の後、北太平洋と南極海における大型鯨類の資源管理に活用される。

1. 目視データ

	大海域	鯨種	年	中海域	発見頭数	
南極海鯨類資源調査 (中低緯度目視調査を含む) (第二勇新丸、第三勇新丸) (2025/2026)	南極海	シロナガスクジラ	2025/2026	第V区西側海域と 第V区東側海域	48	
		ナガスクジラ			457	
		イワシクジラ			75	
		クロミンククジラ			100	
		ドワーフミンククジラ			1	
		ザトウクジラ			1,234	
		マッコウクジラ			31	
		ミナミトックリクジラ			6	
	北太平洋	ナガスクジラ		北西太平洋	1	
		イワシクジラ			26	
		ニタリクジラ			1	
		マッコウクジラ			18	
	IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2025)	北極海 北太平洋	セミクジラ	2025	チュクチ海 ベーリング海	1
			コククジラ			75
ナガスクジラ			127			
イワシクジラ			69			
ミンククジラ			8			
ザトウクジラ			68			
マッコウクジラ			18			
夏季北太平洋鯨類資源調査 (第三勇新丸、第二開洋丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋	4	
		ナガスクジラ			39	
		イワシクジラ			241	
		ニタリクジラ			54	
		マッコウクジラ			230	
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋 オホーツク海 日本海	8	
		ナガスクジラ			413	
		イワシクジラ			65	
		ニタリクジラ			1	
		ミンククジラ			47	
		ザトウクジラ			170	
		マッコウクジラ			64	
秋季北太平洋鯨類資源調査 (第二勇新丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋	2	
		ナガスクジラ			25	
		イワシクジラ			67	
		ニタリクジラ			1	
		ザトウクジラ			14	
		マッコウクジラ			23	
小型鯨類目視調査 (第二開洋丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	日本海 北西太平洋	2	
		ニタリクジラ			17	
		ミンククジラ			5	

2. 標識データ

2.1 自然標識データ

	大海域	鯨種	年	中海域	撮影箇所	撮影個体数
南極海鯨類資源調査 (中低緯度目視調査を含む) (第二勇新丸、第三勇新丸) (2025/2026)	南極海	シロナガスクジラ	2025/2026	第V区西側海域と 第V区東側海域	頭部、背鰭、体側	35
		ザトウクジラ			尾鰭	62
IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2025)	北極海 北太平洋	セミクジラ	2025	チュクチ海 ベーリング海	頭部	1
		コククジラ			体側	62
		ナガスクジラ			背鰭	46
		イワシクジラ			背鰭	1
		ザトウクジラ			尾鰭、背鰭	23
夏季北太平洋鯨類資源調査 (第三勇新丸、第二開洋丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋	背鰭、体側	4
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋 オホーツク海 日本海	背鰭、体側	6
		ザトウクジラ			尾鰭	22
秋季北太平洋鯨類資源調査 (第二勇新丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北太平洋	体側	1
		ザトウクジラ			尾鰭	1
八丈島ザトウクジラ乗船調査 (明丸)(2025/2026)	北太平洋	ザトウクジラ	2025/2026	八丈島沿岸	尾鰭	96

2.2 衛星標識データ

	大海域	鯨種	年	中海域	形式	装着数
南極海鯨類資源調査 (中低緯度目視調査を含む) (第二勇新丸、第三勇新丸) (2025/2026)	南極海	ナガスクジラ	2025/2026	第V区西側海域と 第V区東側海域	衛星	14
		クロミンククジラ			衛星	10
	北太平洋	イワシクジラ		北西太平洋	衛星	8
夏季北太平洋鯨類資源調査 (第三勇新丸、第二開洋丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	北西太平洋	衛星	4
		イワシクジラ			衛星	4
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	北西太平洋 オホーツク海 日本海	衛星	86
		イワシクジラ			衛星	8
		ミンククジラ			衛星	2
秋季北太平洋鯨類資源調査 (第二勇新丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	北西太平洋	衛星	4
		イワシクジラ			衛星	5
八丈島ザトウクジラ乗船調査 (明丸)(2025/2026)	北太平洋	ザトウクジラ	2025/2026	八丈島沿岸	衛星	3

3. バイオプシー標本

	大海域	鯨種	年	中海域	採取個体数
南極海鯨類資源調査 (中低緯度目視調査を含む) (第二勇新丸、第三勇新丸) (2025/2026)	南極海	シロナガスクジラ	2025/2026	第V区西側海域と 第V区東側海域	18
		ナガスクジラ			25
		クロミンククジラ			12
		ザトウクジラ			29
	北太平洋	イワシクジラ		北西太平洋	8
IWC-POWER 太平洋鯨類生態系調査 (第二勇新丸) (2025)	北極海 北太平洋	セミクジラ	2025	チュクチ海 ベーリング海	1
		コククジラ			32
		ナガスクジラ			12
		イワシクジラ			5
		ザトウクジラ			12
夏季北太平洋鯨類資源調査 (第三勇新丸、第二開洋丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	北西太平洋	6
		イワシクジラ			6
春季北太平洋鯨類資源調査 (勇新丸、第二勇新丸) (2025)	北太平洋	シロナガスクジラ	2025	北西太平洋 オホーツク海 日本海	3
		ナガスクジラ			122
		イワシクジラ			8
		ミンククジラ			3
秋季北太平洋鯨類資源調査 (第二勇新丸) (2025)	北太平洋	ナガスクジラ	2025	北西太平洋	3
		イワシクジラ			9

4. 捕獲データ

	大海域	鯨種	年	中海域	陸揚数	調査数	調査項目	捕獲の種類
母船式捕鯨業 (2025)	北太平洋	イワシクジラ	2025	北西太平洋	35	35	27	商業捕鯨
		ニタリクジラ			143	143	27	
		ナガスクジラ			60	60	27	
基地式捕鯨業 (鮎川事業所) (2025)	北太平洋	ミンククジラ	2025	日本沿岸	11	11	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (八戸事業所) (2025)	北太平洋	ミンククジラ	2025	日本沿岸	23	23	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (網走事業所) (2025)	北太平洋	ミンククジラ	2025	日本沿岸	16	16	25	商業捕鯨
基地式捕鯨業 (釧路事業所) (2025)	北太平洋	ミンククジラ	2025	日本沿岸	38	38	25	商業捕鯨

5. 定置網による混獲

鯨種	頭数	都道府県 ¹⁾	状態 ²⁾	漁具	漁獲対象種	連絡先
ミンククジラ	3	北海道	K	定置網	不明	水産庁
	1	青森	K	定置網		
	7	岩手	K	定置網		
	6	宮城	K	定置網		
	1	千葉	K	定置網		
	1	神奈川	K	定置網		
	4	新潟	K	定置網		
	9	富山	K	定置網		
	15	石川	K	定置網		
	1	福井	K	定置網		
	3	静岡	K	定置網		
	2	三重	K	定置網		
	2	京都	K	定置網		
	5	和歌山	K	定置網		
	4	島根	K	定置網		
	4	高知	K	定置網		
	8	長崎	K	定置網		
	4	宮崎	K	定置網		
	1	鹿児島	K	定置網		
	ナガスクジラ	2	岩手	K		
2		福井	R	定置網		
1		和歌山	K	定置網		
ザトウクジラ	2	和歌山	R	定置網		
セミクジラ	1	和歌山	R	定置網		

1) 漁具の設置された都道府県ごとに記録.

2) 状態: D = 死亡(廃棄, 埋設等), K = 死亡(販売ないし標本保管), R = 生存(放流).

6. 座礁

鯨種	頭数	都道府県	連絡先
ミンククジラ	3	北海道	水産庁
	1	福井	
ナガスクジラ	1	岩手	
	1	茨城	
	1	新潟	
	1	長崎	
ザトウクジラ	3	北海道	
	2	岩手	
	3	千葉	
	1	石川	
	1	静岡	
	1	兵庫	
	1	高知	
	1	宮崎	
マッコウクジラ	3	北海道	
	1	青森	
	2	茨城	
	5	千葉	
	2	東京	
	1	神奈川	
	1	新潟	
	1	青森	
種不明大型鯨類	1	岩手	
	1	新潟	
	1	和歌山	
	1	和歌山	

7. 印刷物

Førland, B. Skaug, H.J., Takahashi, M. and Pastene, L.A. 2025. Close-Kin Mark-Recapture Without Age Information: Application to Southern Right Whales. *Journal of Agricultural, Biological, and Environmental Statistics*. <https://doi.org/10.1007/s13253-025-00689-3>

Goto, M., Tamura, T., Bando, T. and Yasunaga, G. 2026. Genetically identified J-stock common minke whales: an overview of their biological and ecological features in waters around Japan. *Cetacean Population Studies*. 5:35-50. <https://doi.org/10.34331/cpops.2022-Re-001>

Igarashi, K., Tanabe, A., Sahara, H., Nozaki, R., Kondo, H., Katsumata, T., Tamura, S., Yamakoshi, T., Mori, M., Miyagi, M., Nakamura, G., Kanda, N. and Murase, H. 2025. Application of DNA Methylation-Based Age Estimation to Construct an Age Structure of Humpback Whales in a Newly Emerged Wintering Ground Around Hachijojima Island, Tokyo Metropolis, Japan.

- Ecology and Evolution*. 15: e70854. <https://doi.org/10.1002/ece3.70854>
- Kato, H., Kishiro, T., Bando, T., Ohata, K. and Tamaki, K. 2025. Age and body length structure of a male sperm whale school stranded on the Ohura Coast, Kagoshima, Japan, in January 2002. *Cetacean Population Studies* 5. 53-59.
- Kim, Y., Katsumata, T., Isoda, T., and Matsuoka, K. 2025. Rare sightings of the pygmy right whale (*Caperea marginata*) during the 2022/2023 JASS-A cruise in the Southwestern Pacific. *Cetacean Population Studies* 5. 7-18.
- Nakamura, G., Yamada, H., Hirose, A., Maeda, H., Reidenberg, J.S., Kato, H., Park, S. and Fujise, Y. 2025. Discovery of sexual dimorphism of the laryngeal sac in the common minke whale *Balaenoptera acutorostrata*. *The Anatomical Record*, 1–20.
<https://doi.org/10.1002/ar.25681>
- Olson, P. A., Kinzey, D., Double, M. C., Matsuoka, K., & Findlay, K. 2025. Capture–recapture estimates of Antarctic blue whale abundance and population growth rate. *Marine Mammal Science*, 41(3), e13215. <https://doi.org/10.1111/mms.13215>.
- Takahashi, M., Matsuoka, K. and Hakamada, T., 2025. First large-scale abundance estimates of fin whales (*Balaenoptera physalus*) in the North Pacific: Implications for management. *Journal of Sea Research*, p. 102647, DOI: 10.1016/j.sears.2025.102647.
- Tatsuyama, K., Kuroda, M., Minami, K., Shirakawa, H., Tamura, T., Zhu, Y. and Miyashita, K. 2025. Proposal of discrimination criteria using acoustic observation data of Japanese sand lance *Ammodytes personatus* in Sendai Bay. *Fish Sci.* <https://doi.org/10.1007/s12562-025-01888-0>
- Ten, S., Poli, F.F., Konishi, K., Pastene, L.A., Martín, V., Raga, J.A. and Aznar, F.J. 2025. The epibiont *Xenobalanus globicipitis* indicates differences in swimming kinematics among cetaceans. *Mar Biol.* 172: 7. <https://doi.org/10.1007/s00227-024-04555-7>
- Yanai, R., Yasunaga, G., Tsuji, S., Honda, T., Iwata, A., Miyagawa, E., Yoshida, K., Kishimoto, M., Sakai, H., Fujise, Y., Asagiri, M. and Mitamura, Y. 2025. Dietary intake of whale oil–containing ω -3 long-chain polyunsaturated fatty acids attenuates choroidal neovascularization in mice. *The FASEB Journal*. 39: e70378. doi:10.1096/fj.202402041R